

いつも心を開いている

(父から娘に 映画：ジョーブラックをよろしく)

まるで心が踊っていない。興奮のかけらもない。見ている、シジューガラのがつがい程の情熱もない。一度くらい恋におぼれてみる。地に足がつかない思いで歓喜の歌を歌い、踊り出してみろ。目もくらむほどの幸せをしれ。いつも心を開いている。

愛は情熱だ。妄想だ。なしでは生きられない。それが本当の愛だ。死ぬ程相手を好きになって、相手も同じ程愛してくれる。そういう人と会うには、考えずに心の声を聞くのだ。まだおまえには聞こえない。

愛する人がいなければ、人生を生きる意味などない。冒険をおかし、恋におちる事がなければ、それは生きていないのと同じだ。

そういう恋をみつける努力をしなければ、生きる意味などない。

心を開いていれば、いつか稲妻にうたれる。